

2013年1月21日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
厚生労働大臣 田村 憲久 様  
財務大臣 麻生 太郎 様

希望するすべてのひとが7ワクチンを定期接種で、  
無料で受けられる制度の実現を求めます

全国保険医団体連合会  
会長 住江 憲勇

前略 国民の健康と医療の確保に対するご尽力に敬意を表します。

さて、わが国では、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎などのワクチンは任意接種であり、日本の予防接種政策は世界から大きく遅れています。

「ワクチンで防ぐことができる病気は、ワクチンで防ぐ」ことは、世界の常識です。

しかし、わが国では諸外国では当たり前前に接種されているワクチンの多くが定期接種化されておらず、高額な費用のために接種をあきらめてしまう家庭が少なくありません。また、予防接種法に基づく定期接種となっている百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ、麻疹(はしか)、風しん(三日はしか)、日本脳炎、BCGについても、実費徴収ができるとなっていることが問題です。

平成24年5月23日に厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会が取りまとめた「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」では、「医学的・科学的観点からは、7ワクチン(子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎)について、広く接種を促進していくことが望ましい。」とされています。

わたしたちはワクチン接種に国が責任を持って、次の事項を実現するよう強く求めるものです。一日も早く、世界標準であるワクチンを無償で接種できるよう、ご尽力をお願いいたします。

#### 記

- 一. 予防接種法を改正し、地域間や経済的格差なく、希望するすべてのひとが7ワクチン(子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎)を定期接種で、無料で接種できる制度を早期に実現すること。
- 一. ワクチン接種に関する健康被害の監視・管理体制を強化するとともに、健康被害に対する補償について国が責任をもって実施すること。当面任意接種であっても定期接種と同様の救済制度とすること。
- 一. 病気や家庭事情等で、決められた接種期間にワクチン接種ができない人が費用の心配なくワクチン接種ができるよう柔軟に対応すること。